

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年9月15日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部心理社会学科臨床心理学専攻
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カルフォルニア大学ロサンゼルス校 現地言語: University of California, Los Angeles
留学期間	2022年6月～2022年9月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年9月13日
明治大学卒業予定年	2024年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:      2学期:      3学期:      4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	47518人(2021)
創立年	1919年

留学費用項目	現地通貨 ( )	円	備考
授業料	\$ 6,487	84万5千266円	
宿舍費	\$ 5,122	64万7千611円	
食費		15万円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		1万2千円	
現地交通費		10万4千円	主にUber( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		5千円	
被服費		3万円	
医療費		円	
保険費		3万660円	形態:明治大学のもののみ
渡航旅費		15万円	飛行機往復
ビザ申請費		1万9千200円	
雑費		20000円	お土産代
その他		円	
その他		円	
合計		2180539円	1ドル=135～140円代

## 渡航関連

## 渡航経路

往路 出発地:成田 目的地:ロサンゼルス空港 経由地:

復路 出発地:ロサンゼルス空港 目的地:成田 経由地:

## 渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社:シンガポール航空

料金:15万円

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社: 料金:

復路 航空会社: 料金: ∴合計:

## 航空券購入方法

旅行代理店(店名: ) インターネット(サイト名: ) その他( )

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前: ) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数2)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学のホームページ

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私の滞在先は比較的新しく、クーラーもあり快適でした。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)

なしあり(治療を受けた場所: )

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

なしあり(問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

危ない場所は現地のドライバーなどに教えてもらいました。特に危ないことには巻き込まれませんでした。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ソフトバンクのアメリカ放題を使いました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

デビットを日本に忘れたため現金引き出しができず、現金が足りなくなったので旅行に来てくれた日本の友人に現金を持ってきてもらいました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

大体のものが現地調達できました。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

父のクレジットカードで払いました。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
4単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) ・履修の制限はありましたか？		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
PUBLIC SPEAKING		
科目設置学部・研究科	ESL	
履修期間	6/21~7/28	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に150分が2回	
担当教授	Julie, Norminton	
授業内容	効果的なプレゼンテーションとは	
試験・課題など	主な課題はプレゼンテーションの作成とリフレクションの作成でした	
感想を自由記入	<p>初回の授業からみんなの前で自己紹介をすることを求められました。最初は緊張してしまいうまく話せませんでしたが、何度も授業の中で発表する機会があるためだんだんと自信がついていく実感がありました。最後は一人で15分弱のプレゼンテーションが課されますが、授業を終えるころには緊張もさほどせずに行えるようになっていたので成長を感じました。講義の中でどのように聴衆をひきつけるプレゼンテーションを作るかななどの内容を学ぶことができたので将来役に立つと思います。</p>	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Leaning American English culture from movie		
科目設置学部・研究科	Communication	
履修期間	6/21~7/28	
単位数		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に125分が2回	
担当教授	Tor Negrete	
授業内容	映画を家で見てきて、それについてのディスカッションや講義、小テストがありました。	
試験・課題など	小テストが2回ありました。最終課題にエッセイがありました。	
感想を自由記入	<p>この授業の先生はとてもやさしく、日本についてたくさん質問をしてくれました。授業内のディスカッションでは、それぞれの国の違いを共有しあつてりと、価値観を広げる機会が多く、とても有意義な時間でした。一度すべての授業内の時間がディスカッションで終わることもあったくらいに、意見交換の多い授業でした。クラス内の中もよく、先生と生徒で夕食にも出かけました。アメリカ独特の考えや文化を映画交えながらクラスメイトや先生と話し合うのですが、日本やほかの留学生の国の比較は面白く、たくさんの発見がありました。</p>	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Inside Hollyeood			
科目設置学部・研究科	Communication		
履修期間	8/1~9/9		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に125分が2回		
担当教授	Peterson, Steven M,		
授業内容	映画やテレビ産業の裏側		
試験・課題など	テスト2回、グループプロジェクト1回、レポート提出2回		
感想を自由記入	現地生の取るアカデミックな授業だったので周りのレベルが非常に高かったです。課題やテストが多く難しかったです、実際にディズニーチャンネルのディレクターの方がゲストスピーカにきたりと、面白い内容が多かったです。この授業で大切な友人もできたのでとても印象に残っています。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introductory Psychology		心理学入門	
科目設置学部・研究科	Psychology		
履修期間	8/1~9/8		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に125分が2回		
担当教授	Emily.N		
授業内容	前半講義、後半グループワーク		
試験・課題など	毎週小テスト、大学院被験者の協力最低6時間、レポート二回		
感想を自由記入	この授業は教科書の分量が非常に多く、毎回40ページの予習と復習問題の回答が必要でした。明治大学で学んだ内容も含まれていたので内容はつかみやすかったです。とにかくやる事が多く、毎日何かしら作業をしていないと追いつきませんでした。大学院の実験の被験者になることが単位取得の条件とされていたため、いくつかの実験に参加しました。すべてのタスクをこなすのは時間的にも体力的にも大変でしたが、自分なりに容量をつかみ楽しみながら乗り越えることができました。		

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
リクナビ
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	TOEIC 受験
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	ビザ申請
	4月～7月	6月出国
	8月～9月	9月帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

**留学体験記**

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私は当初外部のエージェントで語学学校に短期留学を考えていましたが、語学学校で英語を学ぶよりも海外の大学生活を経験したいという思いがあり、留学先を変更しました。アドバイザーの方に相談したところ、UCLA があっているのではないかと紹介していただきました。UCLA は世界トップレベルの大学であり、そんな大学の学生、留学生とたくさん知り合えることができると思い、この大学に決めました。また、校舎は LA にあるため、どこに遊びに行くにも便利な立地であり、たくさんの観光地に週末訪れることができました。今回の留学でたくさんの素晴らしい友人に出会うことができました。カルフォルニア大学の正規性をはじめ、留学に来ている学生はみんなが賢く、心の広い素晴らしい人たちでした。そのような友人とともに過ごす夏はとても刺激的で毎日がとてもいい意味で忙しかったです。授業は日本とは比べ物にならないくらい課題が多く、こなせるのか不安でしたが友人と協力しながらテストや課題、グループプロジェクト等を乗り切ることができました。私は授業で得た知識はもちろんですが、それ以上に周りにいる友人との出会いを通じて世界各国の友人から様々な価値観や意見の幅広さを実感できたこと、一人一人が大きな夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力できる環境のありがたさをみにしみて体感できたことがとても有意義であったと感じています。様々な困難がありながらの留学でしたが、これら気づけたのが一番の収穫であったと感じています。留学生活は楽しいことばかりではありませんが、終わってみるとどれもがここでしか味わえなかった特別な体験だったと思っています。私はコロナの影響で二年生の時に留学に行くことができず、三年生で留学に行くことを迷っていましたが、結果的に今来てよかったと思っています。異国での生活の不安や語学力の心配など不安なことは多いと思いますが、それ以上に楽しいことがたくさん待っているのでぜひ挑戦してみてください。